

令和2年度 第3回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録【確定稿】

- 日 時 : 令和2年9月8日(火) 18時30分～20時00分
- 会 場 : オンライン (Zoom)
- 出席委員: 小野修平、斉藤千映子、田邊洋、阿壽子、山本弓彦、渡邊浩文
＜以上6名、敬称略、五十音順＞
- 出席役職員: 妻屋良男、小平勝一、塚澤貞明、嶋田孝雄、長山清美

配布資料

- 資料 1: 西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告(令和2年7～8月)
- 資料 2: コーディネート状況等月次報告(令和2年7～8月)
- 資料 3: 西東京ボランティア・市民活動センター予定表(令和2年9～10月)
- 資料 4: 令和2年度第2回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会要点記録
【未定稿】案
- 資料 5: 令和元年講座・講習会専門委員会(10月)「講座メニューのアイデア」
- 資料 6: 令和2年度下半期事業予定(案)

本年度初開催となるため、参加委員及び職員の自己紹介を行った。

1. 報 告 事 項

- (1) 業務報告(令和2年度7月・8月)について(資料1～3)
 - ・事務局より業務報告を行った。
 - ・委員より特に質問無し

2. 審 議 事 項

- (1) 令和2年度第2回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会記録(未定稿)について(資料4)
 - ・書面での返信を、VACで集計し、記録として作成した。最終頁のオンラインに関するアンケートを削除したものを確定稿としたい。

3. 協 議 事 項

- (1) 『気球くんプラン』と「講座メニューのアイデア」について(資料5)
 - 新しい生活様式を踏まえ、今後の「ボランティア活動」と講座・講習会専門委員会で検討された「講座メニューのアイデア」について。

(委員)

- ・事例として、在宅ボランティア活動で暑中見舞い書きを行い、「学校の課題」と思われる学生（中学・高校・大学）の参加が多かったようだが、300人以上の申込があったとのことで、クリスマスカード・年賀状のプログラムを組むのはどうか。
- ・オンラインは移動もなく、活動先に行かず、どこからでも参加できる。
- ・「はじめて講座」「出張講座」「小・中学校総合学習」を共有で1本作れば3事業に活用できるのではないかと。3事業のパンフレットや冊子を作り、メニュー化をすることで、「はじめて講座」・「出張講座」・「小・中学校総合学習」のプログラム紹介が分かりやすくなる。そのために、どんなニーズがあるのかを考え、今年いっぱい整理していきたい。
- ・支援者を増やすため、成人向けに手話や車いす体験に興味を持ってもらう。
- ・ベテラン活動者と新たな担い手を増やしていくための活動。

(事務局)

- ・「総合学習」の問い合わせは例年の1/3以下、また総合学習に協力いただいているボランティアの一部から「今年は、遠慮したい」との声もあった。今年は手話、点訳グループにご協力を頂き、学校と開催の調整を行っている。
- ・「出前講座」について、現状は「ボランティアとは・・・」「ボランティア保険について」などだったが、今後は体験型の車椅子講座を組み合わせメニューとして提示する。
- ・講座に多くの人が集まるのが難しく、オンラインで開催していたりするが、オンラインの理解が少ない方々に参加してもらうことが出来ないため、「ぼらんていあ倶楽部」やホームページを活用し、説明を行いたい。

(委員)

- ・オンラインだからこそ参加できるという声もあり、感染状況を見ながらオンラインとオフラインを掛け合わせたハイブリット型で工夫をしながらの講座実践も必要と思われる。また、講座メニューが障がい者・子ども・高齢者と増えていけば、多様な企画が考えられ、ボランティア登録の土台になっていくのではないかと。
- ・狛江では体験学習部会という市民活動団体の方も参加している組織があり、今年は出張型講座を考えていたそうだが、このような状況のため福祉教育の動画を作った。
出演者も市内の聴覚、視覚障がい者の当事者で、登場する子役もミュージカルをやっている団体から参加、撮影も業者に協力していただき、オール狛江で作成した。
動画を見た教育委員会も良いものができたということで、小学校に配信している。狛江では子どもにタブレットを配布しているため、保護者専用のユーチューブで見る事ができる。
- ・地域の人材発掘という企画に関心を持った人が声を上げて、社協に賛同し、発掘した人材を循環させていく仕組みも考えられる。

(2) 令和2年度下半期事業予定について（資料6）

- ・「軒下ふれあいバザー」マックスバリュと開催検討中。
- ・「ボランティア活動者懇談会」・「ボランティアはじめて講座」・「ボラフェス実行委員会」の実施の有無を検討中だが、運営委員会としては従来通りの形ではなくても開催する方向を探っていきたい。

(事務局)

- ・事業者とボラセンが手を組むこと、狛江の動画作りも参考になった。懇談会についてはボランティア活動室を使っている人達が顔を合わせたことがないという事もあり、顔合わせを行うのも懇談かとも思う。何かできる事を探していけると良いと考え、頂いた意見から広げて行こうと思う。

(委員)

- ・ボラフェスの実行委員会を11月から予定している。

実行委員会のメンバーも少なくソーシャルディスタンスは取れるため、集まることは可能。

Zoom開催も視野に入れ、メンバーの皆さんがZoomを利用できる環境であるのかも確認。

- ・来年度開催する・しないを決定する前に、「従来のボラフェスの形」を求めるのか、「今の状況に合った形」で行うか、実行委員会の前に一度意見を聞く必要はあるのではないかと感じた。

4. そ の 他

(1). 次回運営委員会開催日程について

■日時：令和2年11月10日（火） 18時30分～20時00分

■会場：田無総合福祉センター

(2). そ の 他